

耐久塗布無滴散乱光農PO

農PO 外張り 塗布無滴 5年耐久

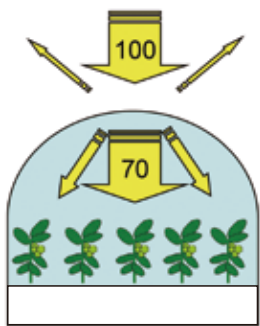
美サンランTMダイヤスターTM

ハウスの中に入る光線が適度な散乱光となり、ハウス全体に光がゆきわたります。

美サンランシリーズは、フィルムを通った光が散乱光となるので午前中の急激な温度変化を和らげ葉焼けの防止、作物の品質向上が期待できます。また、葉やハウス骨材の影が薄くなるので光合成量の増加が期待できます。

美サンランダイヤスターの特長

●美サンラン(微散乱光)の場合



美サンラン微散乱光
全光線透過率…90 曇り度…20

美サンラン(散乱光)はフィルムを通った光の散乱角度が小さいのでハウスの外に逃げる光が少ない。

ハウスの中は明るく感じる。ハウスの中からは雲の存在と動きがわかる。

冬季・曇天時の光量の確保ができ、生育遅れの回避が期待できます。

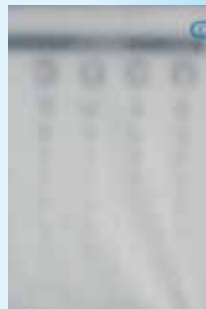
ハウスの中から外の見え方の比較



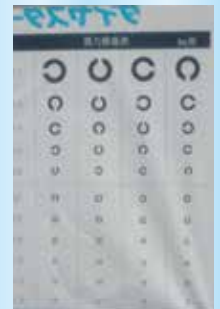
美サンランダイヤスター



ダイヤスター



美サンランダイヤスター



ダイヤスター

●一般梨地フィルム(散乱光強度=強)の場合

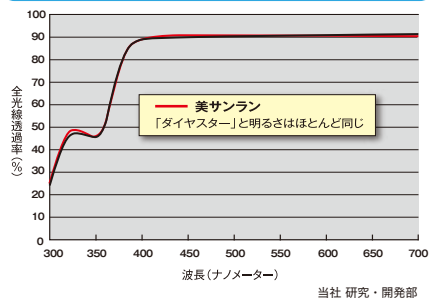


一般梨地フィルム散乱光強度=強
全光線透過率…89 曇り度…35
※曇り度の数値が高い程、散乱光強度は強くなります。

一般梨地フィルム(散乱光強度=強)は、フィルムを通った光の散乱角度が大きいためハウスの外に逃げる光が多い。

なんとなく、光がぼんやりと感じる。ハウスの中から、雲の確認がしにくい。

光線透過特性



「美サンランダイヤスター」は、「ダイヤスター」とほぼ同じ全光線透過率です。

美サンランダイヤスター規格表

性質	厚さ(mm)	幅(cm)
防霧・無滴・散乱光	0.15	製品の規格については、最寄りの販売店にご相談ください。

ハウスの外から中の見え方の比較



美サンランダイヤスター



ダイヤスター

「美サンランダイヤスターについてのお願い」

冬期および曇天が続いた場合、透明フィルムと比較して作物の生育に差が出る場合があります。

MKVアドバンス

耐久塗布無滴紫外線カット 散乱光農PO

農PO 外張り 塗布無滴 5年耐久

美サンランダイヤスターUVカット

美サンランダイヤスターに、UVカット性能をプラス！
UVカットで散乱光がハウス隅々までゆきわたります。

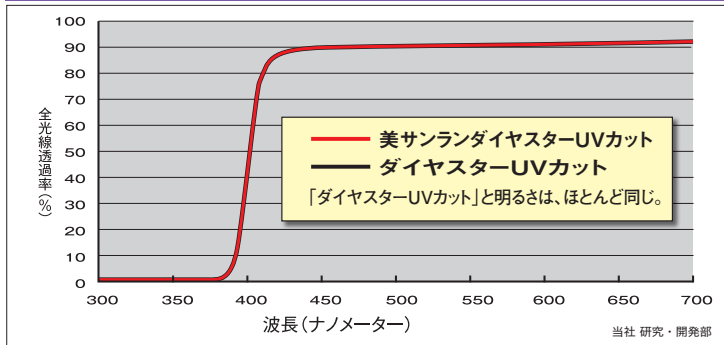
美サンランダイヤスターUVカットの特長

- ★紫外線カット性能をプラスしました。
- ★しかも、紫外線カット性能が長続き！
- ★適度な散乱光がハウス全体にゆきわたります。
- ★しなやかな強さを実現しました。

UVカット効果

- 虫害が少なくなります。
紫外線をカットするので、スリップス・アブラムシ・コナジラミなどの虫害を抑制します。
- 病害を大幅に抑えます。
灰色カビ病・菌核病は、紫外線をカットすると、菌糸の状態では生育が止まるので被害は軽くて済みます。
- 病虫害の抑制効果があるので、省農薬栽培につながります。
- 作物の生育がよくなります。
葉や莖の生育を抑える紫外線をカットするので、作物の生育が促進されます。
- マルハナバチ利用について。
ハチの種類・個体差、ハウスの構造、気象条件、農薬の影響、花粉量等によって、飛翔に差が出る場合があります。

光線透過特性



美サンランダイヤスターUVカット規格表

性質	厚さ(mm)	幅(cm)
防霧、無滴、散乱光、UVカット	0.15	製品の規格については、最寄りの販売店にご相談ください。

「美サンランダイヤスターUVカットについてのお願い」 冬期および曇天が続いた場合、透明フィルムと比較して作物の生育に差が出る場合があります。

お願い 樹脂コートされたパイプやハウス部材に、フィルムが貼り付くことがあります。万が一貼り付いた場合は、フィルムが貼り付いた部分を濡らして少しずつはがしてください。

農POフィルム・塗布無滴農POフィルムに関する注意

注意 ■農POフィルムに関する注意
①表と裏があります。製品に印刷された文字が、ハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。②農POフィルムは、裏面に印刷された文字が、ハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。③農POと農ビを裏面に密着させて（重ねて）使用する事はおやめください。④フィルムの劣化を早めますので、ハウス内外で硫黄燻蒸および硫黄系薬剤の散布をさけてください。ハウス近隣で硫黄系薬剤を使用した場合も、同様の劣化（いたみ）が発生するおそれがあります。⑤高温時にフィルム同士が熱融着することがあります。展張前や保管時には、直射日光・水ぬれをさけてください。⑥防霧性能に関して、ハウス内の環境条件（湿度、温度）や、外気温の急変などににより、モヤが発生することがあります。⑦展張の際、製品と同送の「上手にお使いいただくためのおねがい」を必ずお読みください。

■フィルム展張の際、タルミは禁物です。
小シワのようめよう強めにピンと張り、奥行と両サイド方向にフィルムを固定してください。

■農POフィルムは、温度による収縮性があります。
冬・低温時に展張された場合は、夏に気温が上がるとフィルムがゆるみパタつくことがありますので、その際は両サイド方向に増し締めを行ってください。また、ハウスの奥行き方向2~4mおきにスプリング等でパタツキを抑えることをおすすめします。
●ハウス両側側の風の強い部分には「スレない君」などPO専用バンドのご使用をおすすめします。

★厳冬期・寒冷地での展張のポイント
厳寒期は、フィルムが硬く伸びにくくなります。厳寒期のフィルム展張は、折り目から水滴が落下する場合がありますのでご注意ください。

注意 ■塗布無滴農POフィルムに関する注意
①フィルムには、表と裏があります。フィルムに印刷された文字が、ハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。②フィルム内側の無滴面を強くこすらないでください。特に展張時に引きずらないでください。無滴塗膜表面が傷つき、すぐれた無滴性が損なわれることがあります。③この製品は絞り機を使用した場合、性能が低下することがあります。④展張の際、製品と同送の「上手にお使いいただくためのおねがい」を必ずお読みください。

■塗布無滴農POフィルムの無滴性
①ヌレ始めにガラスのように一時的に細かい水滴が付着して曇ることがあります。水滴が流れ始めるまでの過渡的な現象であり、無滴性能は低下していません。②ハウス天井部などの傾斜のゆるい部分で水滴が流れにくい場合があります。③フィルムのシワ・たるみをとるようにお張りください。フィルム裏面に流れる水滴の量が多い為ハウス内への水滴の落下の原因となります。④濡れたまま巻き上げ・たくしあげなどで長期開放放置すると、塗膜同士がくっつくことがあります。★長期間、保管するときは、フィルムをよく乾燥させてください。⑤無滴塗膜面に油性成分を含む薬剤等が付着すると、性能が損なわれるおそれがあります。

■近紫外線カットフィルムに関する注意
①ナス栽培とミツバチを利用する栽培には使用できません。②病虫害に対する効果は抑制効果であり、殺虫・殺菌効果ではありません。作物の状況に応じた適切な防除作業を行ってください。③生育が旺盛になることがあります。草勢に見合った肥培管理を行ってください。④地域やハウスの使用条件により、UVカット持続性に違いが発生することがあります。

★近紫外線カットフィルム下でのマルハナバチ利用について
ハチの種類・個体差、ハウスの構造、気象条件、農薬の影響、花粉量などによって、飛翔に差が出る場合があります。詳しくは、マルハナバチメーカーにお問い合わせください。

※この製品の内容は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

取扱店

MKVアドバンス株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-9-2 住友不動産神田和泉町ビル TEL.03-4334-4636



当社ホームページへ

23.09.10-BK(M)